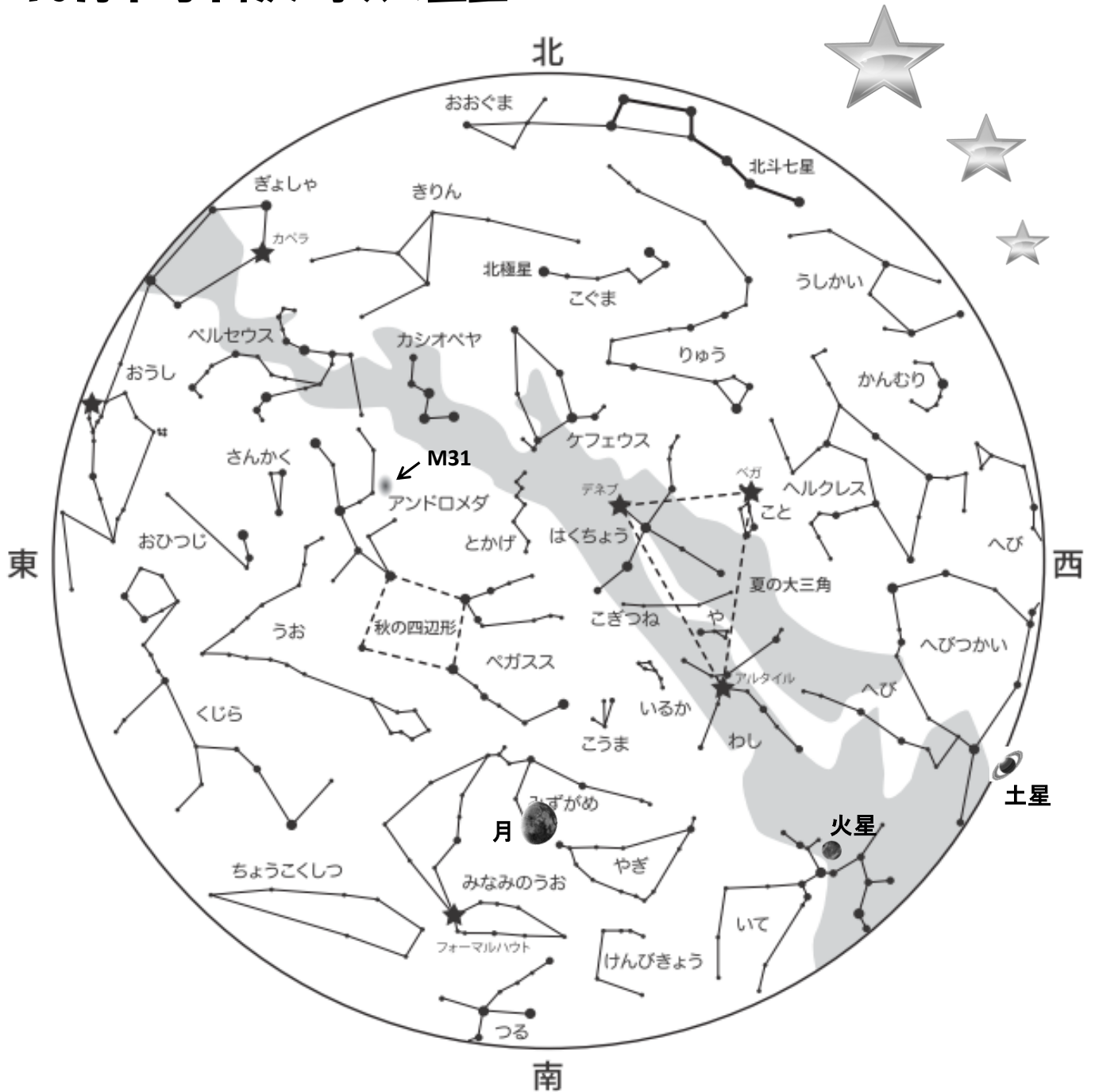


松江市立天文台～10月の天文教室～

平成28年10月12日

10月中旬午後9時頃の星空



夕方、太陽が沈んだ西の空には、白く輝く宵の明星、金星が現れ、土星や火星など他の惑星も、暗くなった頃、同じく西の空で見ることができます。

空の星座達も、夏から秋への変り目です。頭の真上に見えていた夏の三角形は、徐々に西の空に移動し、東からは、アンドロメダ座とペガサス座の星でかたち作られる、秋の四辺形が昇ってきます。

10月中旬午後9時頃の星空です。

月や土星、火星の見かけの大きさは強調してあります。

この星図で星を探すときは、見る方角を下にしてみましょう。

今夜の月

今夜の月は、月齢11

月は地球の衛星で、その直径は3千4百キロメートルあまり、27日で地球の周りを回っています。月が光るのは、太陽の光を反射しているためで、地球、太陽との位置関係でその形が変わります。

明日13日の月は、十三夜月(じゅうさんやづき)と呼ばれ、月の形が美しいとされています。



アンドロメダ座



アンドロメダ銀河M31

230万光年のかなたにある銀河です。双眼鏡でも楕円形の雲が空に浮いているように見えます。

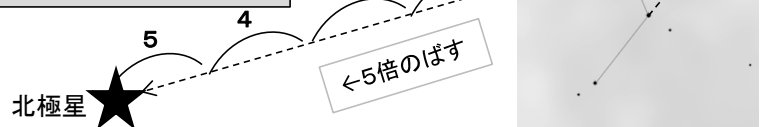
二重星アルマク

アンドロメダの左足先にあり、アルマク(くつ)という名前が付けられた星です。天体望遠鏡で拡大すると、2等星と5等星に分かれて見える美しい二重星です。

アンドロメダ座はくじら座(怪物ティアマト)のいけにえにされそうになったアンドロメダ姫を表しています。この後、天馬ペガサスに乗った英雄ペルセウスがティアマトを倒し、アンドロメダを救い出すという壮大な物語が、秋の星座にちりばめられています。

北極星を見つけよう

カシオペア座の両端のほしのならびを延長して、その交わる点から、真ん中の星に向かって線を5倍伸ばしていくと北極星を見つけることができます。



天文のデータは主に天文年鑑から引用しています。使用する天体望遠鏡によっては、視野の上下左右が逆に見えます。また、空のコンディション(雲、透明度)により、天体の見え方は違いま

次回の天文教室

開催日 11月9日(水) 20時から21時まで
(受付は19時30分から市役所正面玄関で行います。)
事前の予約は不要です。



★ MAC Matsue Astronomy Club
松江星の会